

ロジスティクス環境会議  
第2回企画運営委員会 議事録

1. 日 時：2004年1月9日(金) 15:00～17:00

2. 場 所：東京・港区 (社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

3. 出席者：27名(別紙出席者一覧 参照)

4. 議 案：

- 1) ロジスティクス環境会議の目標設定の具体化について
- 2) 企画運営委員会の組織構成と役割分担について
- 3) 問題抽出アンケート結果について
- 4) 各委員会の今後の進め方について
  - (1)環境会議のアウトプットを通じたJILS事業企画の構想
  - (2)各委員会正副委員長ミーティングによる検討結果の報告

5. 開 会

杉山委員長の挨拶にて、第2回企画運営委員会の開会がなされた。司会進行のもと、以下のような内容が検討された。

6. 設立総会後の活動経過の報告

事務局より、資料1に基づき、第1回ロジスティクス環境会議(設立総会)後、第2回企画運営委員会にて検討、合意されたとおり、各委員会の第1回目の委員会を開催する前に、委員会の進め方等について、各委員会の正副委員長による打合せが行われたことが報告された。

7. 議 事

杉山委員長の司会進行のもと、以下のとおり議事が進められた。

1) 第1期(2003年11月～2006年3月)の目標設定の具体化について

事務局より、資料2に基づき、ロジスティクスに関わる環境活動の対象領域と環境負荷を可能な範囲で具体的かつ定量化することによって、自主的な活動による環境負荷低減を促進し、各関係者に活動の意義や成果をアピールすると共にロジスティクス環境会議の活動を活性化する旨の説明が行われた後、委員メンバーにて意見交換がなされ、以下のような確認がなされた。

- (1) 参加メンバーの数を増やすことも重要ではあるが、ここで具体的な数字を表記する必要はない。
- (2) 目標値の設定とあるが、現段階では取り組むべき課題を明らかにすることが重要である。環境パフォーマンスの整備状況や各社の現状を踏まえると、目標値の設定は暫く状況をみたくうえで行うべきである。
- (3) 成果イメージは資料の通りで良いのではないか。

## 2) 企画運営委員会の組織構成と役割分担について

事務局より、資料3に基づき、企画運営委員会を有機的に機能するものとするため、企画運営委員会メンバーの役割を明確にする旨の説明が行われた後、委員メンバーにて意見交換がなされた後、以下のような確認がなされた。

- (1) 企画運営委員会の中に、各委員会の委員長ミーティング、正副委員長ミーティングと普及・普及専門委員会を設置する。
- (2) 図中には5つの各委員会(環境パフォーマンス評価手法検討委員会等)も表記する。
- (3) オブザーバー会議、関係団体会議は必要な時に企画運営委員会が主催し、企画運営委員会およびオブザーバー、関係団体のメンバーは適宜、適切なメンバーを招集し、開催する。
- (4) 関係団体会議のメンバーは例示であり、具体的なメンバーについては改めて検討する。

## 3) 問題抽出アンケート結果について

事務局より、資料4に基づき、問題抽出アンケート結果の概要について報告された。

なお、委員より、各回答を内容に合わせて委員会ごとに振り分けているが、複数委員会に関する回答もあるため、その結果もわかるようにして欲しい旨の意見を受け、後日、改めて集計を行い、その結果を公表することが確認された。

## 4) 各委員会の今後の進め方について

### (1) ロジスティクス環境会議のアウトプットを通じたJILS事業企画の構想について

JILS会員をはじめ、広く産業界等に貢献するため、環境会議の各委員会のアウトプットを活用した教育研修事業や関係省庁の連携を図りながら、環境パフォーマンスを活用した認証制度等、JILS事業の構想が提起され、今後、環境会議と並行して事務局にて具体的な検討を進める旨、説明が行われた。

### (2) 各委員会の今後進め方について

各委員会の委員長より、資料に基づき、環境会議の全メンバーを対象に行った、問題抽出アンケート結果を踏まえ、各委員会の正副委員長よって議論された、検討すべきテーマや課題、運営上の課題等について説明された後、委員会の今後の進め方(案)として、アウトプットイメージ、目標等について説明がなされ、確認された。また、各委員会の正副委員長にて適宜加筆修正した後、1月下旬より開催される各委員会にて、正副委員長からの提案として各委員会メンバーに配布し、検討のうえ合意形成を図り、各委員会を進めることが併せて確認された。

環境パフォーマンス評価手法検討委員会・・・増井委員長/武蔵工業大学

源流管理による環境改善委員会・・・・・・・・小西委員長/トヨタ自動車(株)

省資源ロジスティクス推進委員会・・・・・・・・山本委員長/日通総合研究所

リバーズロジスティクス調査委員会・・・・・・・・菅田委員長/リコーロジスティクス(株)

共通基盤整備委員会・・・・・・・・津久井委員長/諏訪東京理科大学

## 5) その他

### (1) 物流活動の業務モデル図について

事務局より、各委員会の共通課題としても出されている、物流活動の業務モデル図については、増井委員(武蔵工業大学)を中心に、若手の特別メンバーである納富委員(早稲田大学)、鈴木氏(文化女子大学)等の方々にグループを編成し、作成していただきたい旨の提案がなされ、全会一致にて承認された。

(2)今後のスケジュールについて

第3回企画運営委員会は、次のとおり開催することが確認された。

日時：2004年3月19日(金) 13:00～15:00

会場：(社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

なお、委員長ミーティング、各委員会の正副委員長ミーティングは必要の都度メンバーを収集し、会合を開催する。広報・普及専門委員会についても、改めて日程を調整のうえ、委員会を開催することが併せて確認された。

8. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、杉山委員長は閉会を宣した。

以 上